

眼科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の 患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 結膜リンパ腫におけるレニン・アンジオテンシン系の発現解析

[研究機関] 北海道大学病院眼科

[研究責任者] 野田 航介（北海道大学大学院医学研究科眼科学分野・准教授）

[研究の目的] 現在、結膜リンパ腫の治療法は放射線療法、化学療法、外科手術が主です。放射線療法と化学療法はその効果は明らかですが、副作用の面で大きな問題があります。また、手術による病巣部分の摘出を行っても再発する症例もあり、患者さんの負担・医療費の削減などを考慮すると結膜リンパ腫に対する治療薬の開発は重要です。これまでの研究でレニン・アンジオテンシン系の抑制が腫瘍の増殖や転移を効果的に抑制することが複数の実験モデルや臨床研究で示されております。そこで、本臨床研究ではこれまでに外科的に切除した結膜のリンパ腫組織におけるレニン・アンジオテンシン系関連分子の発現の解析を行い、結膜リンパ腫の病態形成への関与を明らかにすることを目的とします。結膜リンパ腫におけるレニン・アンジオテンシン系の役割を明らかにすることで、これまでとは異なった視点からの新たな治療法の開発に結び付く可能性があります。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

結膜リンパ腫の患者さんで、平成23年1月1日から平26年8月31日の間に手術時に切除された組織の保管に同意された方

●利用する検体およびカルテ情報

検体：手術時に切除された組織

（以前に研究用としての保管に同意いただいた分）

カルテ情報：年齢、性別、疾患名、治療内容

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に検体を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北14条西5丁目

北海道大学病院 眼科 担当医師 野田 航介

電話 011-706-5944 FAX 011-706-5948 (眼科医局)